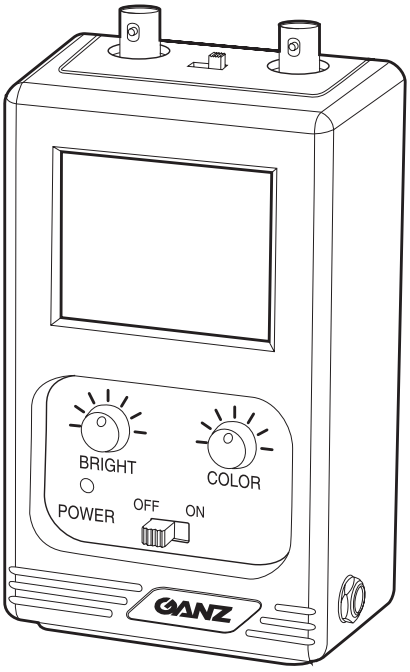
PORTABLE SERVICE MONITOR

PSM-02

ポータブル サービス モニタ 取扱説明書



このシステムは NTSC フォーマット専用です。その他の TV 放送フォーマットやワンケーブル・カメラ・ビデオシグナルのフォーマットには使用できません。

PSM-02 ポータブルサービスモニタをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本書を良くお読みの上、正しくお使いください。
読み終わった後は大切に保管し、ご不明な点がある場合は再読してください。

目次

1. 正しくお使いいただくために 3
2. 本機の特徴 7
3. 部品の名称と機能 8
4. 準備 9
   - 4.1 電池の取り付け 9
   - 4.2 ソフトケースとストラップの使用 10
   - 4.3 接続 12
5. 操作 13
   - 5.1 画像を見る 13
   - 5.2 電源を切る 14
6. トラブルシューティング 14
7. 仕様 15
8. 点滅する LED 電源ランプに関する重要な注意 15

1. 正しくお使いいただくために

*常時遵守すること

このモニタは安全性に十分配慮して設計されていますが、以下の注意と警告に加え、記号のついた項目を熟読して、モニタを正しく使用してください。
下記の記号は損傷やけがの発生を予防するため、モニタを適切に使用するための警告と注意を表すものです。

記号の意味

● 記号のついた諸注意を守らなかったために発生する危険またはけがの程度は以下の記号で表されます。

	警告　人が死亡、または重傷を負う恐れがある内容です。
	注意　人が障害を負ったり、財産が損害を受けたりする恐れがある内容です。

● 遵守すべき事項の種類は以下の記号で分類・説明されます。

この記号は注意が必要な事項を表します。

この記号は禁止されている事項を表します。

この記号は必ず行なわなければならない事項を表します。

警告

以下の事態が発生した場合は、即座にモニタの使用を中止し、電池を外し、モニタに接続されている全ての部品の接続を切ってください。次にお近くのディーラーまで連絡してください。モニタの使用を続けると、火災または感電事故が発生する恐れがあります。

＊ モニタから煙が出ている、モニタが異常に熱い、またはモニタから異常な匂いがするといった異常な場合
＊ モニタ内に水や異物が浸入した場合

	自力でモニタを解体、改造または補修しようとしないでください。火災や感電事故の恐れがあります。補修および内部の検査については担当のディーラーまでご連絡ください。
	モニタに水や水滴をかけたり、濡らしたりしないでください。モニタ内に水が入ると、火災や感電事故が生じる恐れがあります。モニタに水が入る恐れがある場合、また実際に入ってしまった場合は、即座に使用を中止し、担当のディーラーまでご連絡ください。
	金属物または可燃物を落としたり、モニタ内に入らないよう注意してください。モニタ内に金属物があると、火災、感電事故または故障の原因となる恐れがあります。
	モニタを不安定な場所で使用しないでください。特に高い場所からモニタが落下すると、死亡または大けがをする危険性があります。
	雷雨の間、モニタの金属部分に触れないでください。モニタに雷が落ちた場合、落雷による感電事故死の恐れがあります。

安全に関する諸注意

*常時遵守してください。

注意

● 取り扱い
- ＊ モニタを落としたり、モニタに強い衝撃を与えないでください。
- ＊ 濡れた手でモニタを使用しないでください。感電の恐れがあります。
- ＊ ストラップを付けている時にモニタを振り回さないでください。けがや周囲にあるものを損傷する恐れがあります。
- ＊ 付属のストラップはモニタのみに使用するためのものです。他の用途に使用しないでください。

● 使用環境
- ＊ モニタを下記の場所に置かないでください。
- ＊ 太陽光が直接、強くあたる場所、または車内等の高温になる可能性のある場所。
- ＊ 子供の手が届く場所。
- ＊ 不安定なテーブルの上、また傾斜している場所やその他の不安定な場所。
- ＊ 油分を含んだ煙や蒸気のある場所、湿度の高い場所、また塵埃の多量に発生する場所、強い振動の発生する場所。
- ＊ 0℃以下および 50℃以上の環境では感度が鈍ることがありますが、これは故障ではありません。モニタを通常の温度範囲の場所に移動すれば、感度は戻ります。（作動温度範囲：0～50℃）

● モニタを強制的に作動させてはなりません。計器を損傷したり、けがをする恐れがあります。

● 電池
- ＊ モニタに対応した電池以外は使用しないでください。さらに、新しい電池を古い電池と一緒に使用しないでください。電池の液漏れから電池が壊れ、火災、けがや火傷が生じる恐れがあります。
- ＊ 電池を取り付ける時は、プラス（＋）とマイナス（－）に注意し、正しく装填してください。電池を誤って装填すると、電池が過熱、破損し、液漏れが生じて、火傷やけがをする恐れがあります。

● バッテリー液に接触してしまった場合の応急処置
- ＊ バッテリー液が手や衣類に付着してしまった場合、即座に水で洗い流して下さい。
- ＊ バッテリー液が目に入ると、目が見えなくなることがあります。その場合、即座に水で洗い流してください。こすってはなりません。その後、すぐ医師の診断を受けてください。

● 液晶パネルの取り扱い

＊ 液晶モニタは液晶を使用しているため、温度変化等により明度が不均等となることがあります。

＊ この液晶モニタは最新技術を駆使して開発されています。高品質の明度と画像が得られますが、画面のドット抜けや特定のドットが点灯し続けることがあります。これは液晶の特性によるもので、故障ではありません。

＊ 液晶画面を強く押したり、強い衝撃を加えたりしないでください。液晶パネルが割れて、けがをする恐れがあります。

＊ 液晶パネルが損傷してしまった場合は、割れたガラスでけがをする恐れがあるので十分注意して取り扱ってください。

＊ さらに、内部の液晶が皮膚に接触したり、目に入ったり、飲み込んでしまわないよう十分注意してください。

＊ 液晶を飲み込んでしまった場合は、即座に水でうがいをし、医師の診断を受けてください。

＊ 液晶が目に入ってしまったり、皮膚についてしまった場合は、純水で最低 15 分間洗い流し、医師の診察を受けてください。

● ケアと清掃

＊ モニタの清掃にはベンジン等の化学薬品は使用しないでください。ケースが劣化し、塗装がはがれる恐れがあります。ケースが著しく汚れてしまった場合は、柔らかい布を中性洗剤の薄い溶液に浸して、よく絞ってから、モニタを拭いてください。

警告

この装置は FCC 規定のパート 15、クラス A のデジタル機器の基準に準じていることが試験により証明されています。この基準は機器を商業環境で使用した際、有害な干渉が生じないよう妥当な保護機能を持たせるように作成されたものです。この装置は無線周波数を発生、使用しており、マニュアルに従って取り付け、使用しない場合無線通信に有害な干渉を発生する恐れがあります。この装置を居住地域で使用する場合も干渉が発生する恐れがあり、その場合ユーザーは自身の費用にて干渉を修正する必要があります。

＊ 当該 FCC 規定にて、この装置にはシールドケーブルを使用することが定められています。

＊ 製造者の承認なくこの装置を変更、または改造した場合、ユーザーの使用権は無効となることに注意してください。

インダストリー・カナダの適合申告

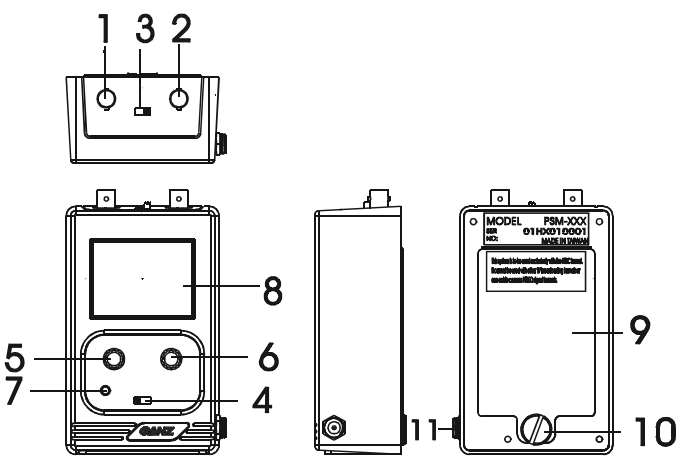
このクラス A デジタル装置はカナダの ICES-003 の規定に準じています。

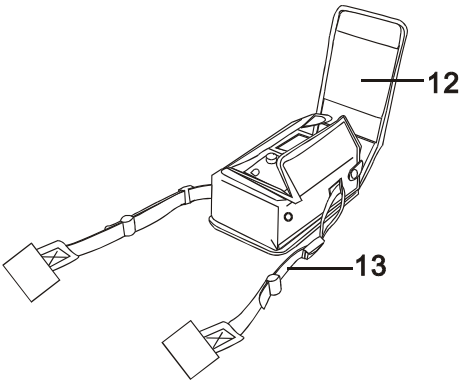
2. 本機の特徴

このポータブルサービスモニタ（PSM-02）はビデオカメラからのビデオシグナルをカラー液晶画面に表示するために使用します。軽量でコンパクトな設計となっており、現場にて画像の範囲を調整したり、カメラの動作を確認することができます。さらに、ビデオシグナル用の端子が装備されているため、画像を同時に外部モニタで見ることができます。

主な特徴

- コンパクトサイズで軽量
- 高性能、薄型フィルムトランジスタ（TFT）、アクティブマトリックスシステムにより高品質、フルカラーの画像が得られます。
- カラーと明度：手動調整可能
- 端子よりビデオシグナルを送るため、外部モニタと接続可能
- 75Ω終端：ON/OFF 選択可能
- 電源：AA アルカリ電池 6 個（LR6）
- 節電：ビデオの SYNC 入力がない時は LCD 電源を切って、電池の消費を節約することができます。
- 電池消費表示機能：電池の残量が 7V まで下がると、LED が点滅します。6.5V まで下がると、LCD の電源が落ちます。
- 付属品：フード付きケース（遮光機能、ベルトフック付き）、ストラップ





3. 部品の名称と機能

1. ビデオシグナル入力端子（VIDEO IN）：
   ここにカメラのビデオ出力を接続します。⚠ 注意
2. ビデオシグナルスルー端子（THROUGH）：
   ここに外部モニタを接続します。⚠ 注意
3. 75Ω終端スイッチ（75Ω　ON/OFF）
   - OFF：75Ωの外部モニタを接続する場合
   - ON：外部モニタに接続しない場合
4. 電源
   - OFF：電源を切る時
   - ON：電源を入れる時。
     ビデオ SYNC 入力がない場合は節電モード、電池切れ表示。
5. 明度調整ノブ（BRIGHT）：画面の明度調整を行なう時使用します。
6. カラー調整ノブ（COLOR）：画面のカラー調整を行なう時使用します。
7. 電源のインジケーター（POWER）
   - 点灯している時：電源が入っています。
   - 点滅している時：バッテリーレベルが下がっています。
     電池を交換して下さい。
   - 消灯している時：電源が切られているか、電池が完全に空です。
8. カラー液晶画面：画像の表示に使用します。
9. バッテリーカバー
10. バッテリーカバー固定ネジ：バッテリーカバー⑨を固定します。
11. AC アダプタプラグ
12. ソフトケース：フードを上げると、外部の光を遮蔽できます。
13. ストラップ

⚠ 注意 : ワンケーブルのカメラからこのモニタにビデオシグナルを接続すると故障の原因となることがあります。ワンケーブルのビデオシグナルは決して接続しないでください。

4. 準備

4.1. 電池の取り付け

1. 電源/モードの切り替えスイッチ④を OFF 位置にセットしてください。
2. 電池カバーの固定ネジ⑩を緩め、バッテリーカバー⑨を外してください。
3. バッテリーケースに、プラスとマイナスを正確に、電池を入れてください。
4. 電池が正しく装填されたことを確認してから、バッテリーカバー⑨を閉め、バッテリーカバーの固定ネジ⑩をしっかり締めてください。

☆ 電池の交換

パワーインジケーター⑦が点滅したら、電池交換のサインです。パワーインジケーター⑦が点滅し始めても、短時間はまだモニタが使えます。電池を交換する時は、必ず 6 本全てを新品と交換してください。屋外で使用する場合は、予備の電池を用意しましょう。

必ずアルカリ電池を使ってください。マンガン電池を使用すると、モニタの寿命が著しく短くなります。

☆ 電池の一般的寿命

アルカリ電池（LR6）の場合、5 時間以上

＊ 電池の寿命はメーカーによって異なります。
＊ 上記の推定寿命はモニタを周囲温度 25℃で使用した場合のものです。

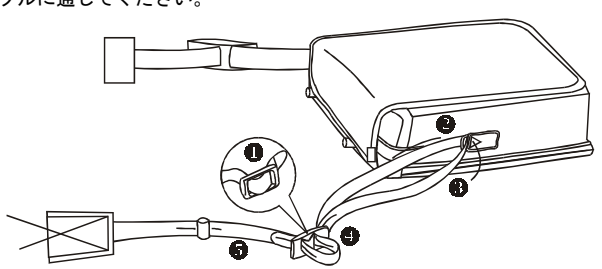
⚠注意

電池を正しく取り扱わないと、液漏れが生じ、衣類に付着したり、電池を破損する恐れがあります。必ず以下の点を守ってください。

- 使用済み電池は適切に廃棄してください。
- 電池を装填する際はプラスとマイナスの極を間違えないよう注意してください。
- モニタを 2 週間以上使用しない時は電池を外してください。
- モニタに異なる種類の電池を使用しないでください。
- 古い電池を新しい電池と混ぜないでください。新しい電池の寿命が短くなったり、古い電池から液漏れが生じる原因となります。
- 電池を火に投じたり、ショートさせたり、また解体したり、加熱したりしないでください。
- 電池が消耗した場合は、即座にモニタから取り外してください。（モニタに消耗した電池を入れたままにしておくと、液漏れの危険性が生じ、モニタ故障の原因となります。）電池から液漏れした時は、皮膚に液が付着しないよう十分注意しながら、液を布で拭き取ってください。
- 電池を充電しないでください。

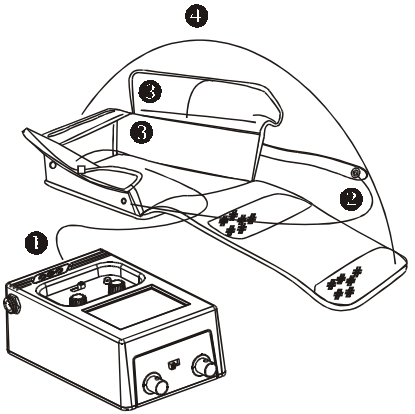
4.2　ソフトケースとストラップの使用

1. ストラップを取り付ける。
   下図の矢印の番号順に、ストラップの端をストラップの取り付け穴とバックルに通してください。

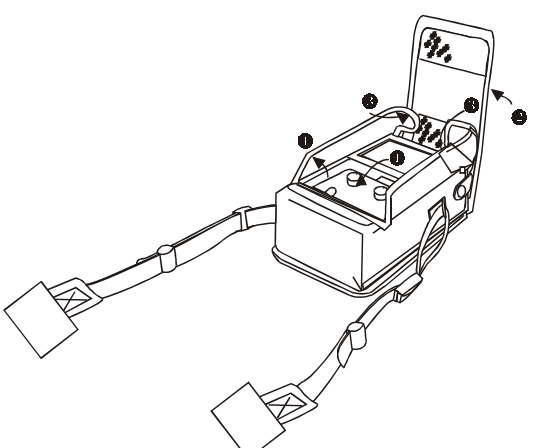


⚠ 警告：ストラップを付けてカメラを運ぶ際、首には、特に幼児や子供の首には絶対にかけないでください。ストラップが締まって窒息事故が発生する可能性があります。

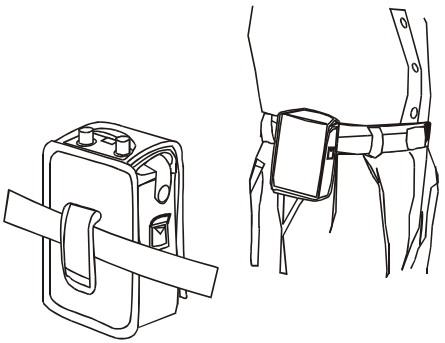
2. モニタをソフトケースに収納する
   モニタをソフトケースに収納する際は、図の矢印の番号に従ってください。



3. 画像を見るため、ソフトケースのフードを開ける
   図の矢印の番号に従って、フードをセットしてください。
   フードを図のようにセットすると、フードの正面と側面が外光を遮断してくれます。蛍光灯や太陽光を遮断してくれるので、カラー液晶画面面⑧が見やすくなります。

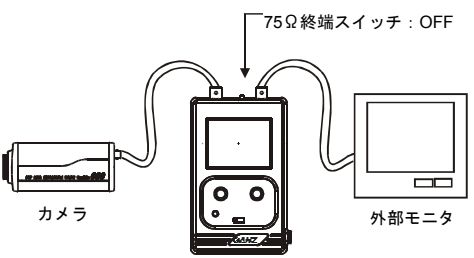


4. ベルトホルダーの使い方



4.3 接続

1. 電源/モードの切り替えスイッチ④を OFF 位置にしてください。
   75Ω終端スイッチ（75ΩON/OFF）③を ON 位置にしてください。
   外部モニタ（75Ωで接続）を使用する場合は、このスイッチを OFF 位置にしてください。
2. カメラとビデオシグナル入力端子（VIDEO In）①をケーブルでつないでください。
   外部モニタを使う場合、ケーブルで外部モニタとビデオシグナル・スルー端子（THROUGH）②をつないでください。



ポータブルサービスモニタ

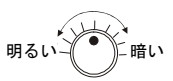
5. 操作

5.1　画像を見る

1. 電源スイッチ④を ON 位置にしてください。
2. 電源を入れて、パワーインジケーター（POWER）⑦が点灯すると、カメラの画像が表示されます。画像が表示されない場合は、カメラの出力信号をチェックしてください。パワーインジケーター⑦が点灯しない時は、電池を交換してください。
3. 必要に応じて下記の手順で色と明度を調整してください。

- 明度は液晶画面を見る角度によって変わります。パネルは常に正面から見るようにしてください。
- 明度調整ノブ（BRIGHT）⑤またはカラー調整ノブ（COLOR）⑥で必要な調整を行なってください。

明度



カラー

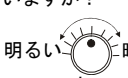
5.2　電源を切る

1. 作業が完了したら、電源/スイッチ④を OFF 位置にしてください。パワーインジケーター（POWER）⑦が消え、カラー液晶画面⑧から画像が消えます。

⚠注意：電源を入れたままにすると、バッテリーが消耗します。

6. トラブルシューティング

モニタに問題が生じた時は、以下の各項目をチェックしてください。故障が発生した時はディーラーまでご連絡ください。

問題	チェック事項
画面に画像が表示されない。	● パワーインジケーター⑦は点灯していますか？ ● カメラのケーブルがビデオシグナル入力端子（VIDEO IN）①に接続されていますか？ ● 電池が消耗していませんか？ ● 電池は正しく装填されていますか？（＋と－） ● ビデオカメラのレンズカバーがついたままではありませんか？ ● ビデオカメラのストップが閉まったままではありませんか？ ● ビデオカメラの電源は入っていますか？
画像が暗い、または完全に真っ白。	● 手動調整モードにして明度を調整してください。 ● 75Ωの端子スイッチ（75ΩON/OFF）③は正しい位置にセットされていますか？ 明度
画像の色がはっきりしない、または色がない。	● 手動調整モードにしてカラーを調整してください。 ● 75Ω終端スイッチ（75ΩON/OFF）③は正しい位置にセットされていますか？  カラー
画像がクリアではない、画面上をロールオーバーする、切れる、または重なる。	● パワーインジケーター⑦が点滅していませんか？（点滅していたら電池を交換してください） ● カメラの出力は NTSC フォーマットですか？ ● カメラの出力はノーマルですか？
電池が発熱する。	● 電池が消耗していませんか？（電池は古くなると、発熱する傾向があります。これは故障ではありません。）

7. 仕様

映像信号：	NTSC
表示構成：	高解像度、ハイカラー2.5 インチ LCD（TFT タイプ液晶）
ドライブ・システム：	TFT アクティブマトリックスシステム
画素：	234(V)×480(H)（合計画素数：112,320）
画面寸法：	49.2(W)×38.142(H)mm（2.47 インチ、6.3cm 対角）
画角：	左：45°／ 右：45°
画像の調整：	明度とカラー調整ノブ
接続端子：	VIDEO IN 端子（BNC）／ THROUGH 端子（BNC）
終端抵抗：	75Ω：ON/OFF
消費電力：	最大 2W
電源：	サイズ AA のアルカリ電池 6 個（LR6）
外形寸法：	82(W)×130(H)×46(D)mm
重量：	約 280g （電池とソフトケースは含まず）
仕様温度：	0℃～＋50℃
保存湿度：	最大 90%RH（結露無し）
付属品：	取扱説明書（この説明書）、ソフトケース、ストラップ
公的基準：	FCC 基準クラス A に準ずる

注：この液晶パネルは最新精密技術に基づき製造されていますが、0.02% の画素が点灯しない、または点灯し続けることがあります。

仕様と設計は予告なく変更されることがあります。

8. 点滅する LED 電源ランプに関する重要な注意

モデル　PSM-02　ポータブルサービスモニタ

モニタにビデオカメラが接続されていないと、電池が新しくても、パワーインジケーターの LED ライトが点滅します。これはノーマルな状態です。この節電機能はビデオシグナルが入力されない時に電池の消費を抑える目的で設計されています。ビデオカメラを接続すると、パワーライトが常時点灯し、電池レベルが下がった時のみ点滅するようになります。

この件に関して何か質問がある場合は、ディーラーまでご連絡ください。

保証書

本書は下の記載内容にもとづき無償修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から下記期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえお買い上げの販売店に修理をご依頼下さい。

品名	PSM-02	保証期間	お買上の日より1年間	お買上日	
お客様	ご氏名 ご住所 お電話番号　（　　）	販売店			

修理メモ

無償修理規定

1. 取扱説明書、注意に従った正常な使用で故障した場合には、無料修理いたします。ただし、出張修理はいたしかねます。
2. 保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合には、商品と本書をご持参、ご提示のうえ、お買上の販売店にご依頼下さい。
3. ご転居の場合には、事前にお買上の販売店にご相談下さい。
4. 保証期間内でも下記の場合は有料になります。
   (a) 使用上の誤りおよび不正な修理や改造による故障または損傷。
   (b) お買上後の落下等による故障または損傷。
   (c) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧による故障または損傷。
   (d) 本書の提示がない場合。
   (e) 本書にお買上年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、または字句が書き換えられた場合。
5. 本書は日本国内でのみ有効です。
6. 本書は再発行しませんので、紛失しないように大切に保管して下さい。

この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理についてご不明の場合には、お買上の販売店または当社へご相談下さい。

CBC株式会社

〒104-0052
東京都中央区月島2-15-13
http://www.ganz.jp

029−1.0